

この選挙公報は、

平成29年6月18日

に行われた

船橋市長選挙

のものです。

平成29年6月18日執行

船橋市長選挙公報

船橋市選挙管理委員会

まちづくりの7つの指針

- ①未来をつくる子ども達のために
教育環境の充実と貧困対策を進めます
- ②高齢者の笑顔があふれるまちに
健康寿命日本一と在宅医療などを推進
- ③安全と安心!防災対策の強化・
自然保護と未来につながるまちづくり
- ④医療センターの建替えなどメディカル
タウンの実現で日本一の健康都市に
- ⑤まちの活気をつくり出す経済施策
- ⑥船橋の魅力を世界に発信!
- ⑦市民目線で行政改革を推進

自民党・民進党・
公明党・連合千葉

推薦

●略歴 昭和29年(1954年)11月生まれ。
千葉県立葉園台高等学校、東京理科大学理学部物理学科
卒。昭和53年船橋市役所入所、平成21年～平成25年3月
船橋市副市長、平成25年7月～船橋市長

まつど徹公式ウェブサイト/
www.tohrumatsudo.jp



市制80周年を迎えた船橋市は、人口が63万人を超えました。
テレビなどでも取り上げられる機会も確実に増え、船橋市は今とても
活力があるまちになっています。
この4年間で、すべての小学校へのスクールカウンセラーの配置、異業種
の若手が交流する経済ミーティング、高齢者の皆さんの生きがいと安心を
確保する「地域包括ケアシステム」、素晴らしい農水産物などの情報発信、
ミュージックストリートや千葉ジェッツふなばしのホームタウン化など、
船橋のまちづくりは確実に前進を続けています。
船橋市にはすばらしい「市民力」と「都市力」があります。
目指すは、市民も、まちも、そのものも「日本元気な船橋」!これからも
全力で市民の皆さんと一体となったまちづくりに取り組んでいきます。

2017年 船橋は、買って住みたい街ランキング
首都圏版第1位に!
※不動産住宅情報サイト「HOMES」調べ



まつど徹

とおる

無所属 船橋市長

62歳

かどた正則君
を推薦します!

センバツ高校野球の準優勝校
県立印旛高校・元監督
町田市議会議員
蒲原 弘幸氏
吉田つとむ氏

プロフィール

久留米大学卒業
日本航空関連会社を定年退職
元船橋市議会議員(3期)

その他に
私を変えたいこと

- 毎年、千名規模の市立保育所建設
- 公教育の完全無償化
- 高齢者や障がい者等の活用策
- 防災ネットワークづくり

- ① 船橋名物の交通渋滞
 - ② 狭くて、危ない歩道
 - ③ 汚く、空き教室だらけの小、中学校
 - ④ 市民税990億円の使い道
- 残った市民税は、
あなたへお返しします!

私を変えたいこと

変わらない市政、20年!!
さらに4年間、
同じ市長にまかせますか?
市長を変えて、
もつと素晴らしい船橋にしよう!



かどた正則

無所属

平成29年6月18日執行

船橋市長選挙公報

船橋市選挙管理委員会

多くの子供たちが、単身女性が、母子家庭が、若者や高齢者世帯が、貧困に苦しんでいるのに、一部の富める者と公務員だけがめくめくと暮らす、そんな社会で良いはありません。地域経済を活性化するとともに、誰もがのびのびと暮らせる公平な社会、船橋を実現します。

官民格差など格差是正

官民格差を是正し生まれる財源(40億円)で、

- ▶きめ細かな貧困対策(子ども、単身女性、高齢者など)
- ▶非正規職員、保育士、幼稚園教諭、介護士等の待遇改善

健康長寿日本一

- ▶高齢者のバス料金半額
- ▶予防医療の強化、保健指導員の育成

子育て支援日本一

- ▶小中学校給食無料化(26億円)
- ▶高校卒業まで医療費無料化
- ▶給付型奨学金創設



日本一美しい観光文化都市

- ▶フィッシャーマンズワーフ(海の駅) 法華経寺参道、アンデルセン公園等で「東洋のサンフランシスコ」に
- ▶廃校活用で市立看護福祉大学の創設

都市基盤の整備

- ▶新京成とJRの津田沼駅間に地下道
- ▶東葉高速海老川中央駅早期実現

その他

- ▶受動喫煙防止条例の制定
- ▶脱原発・自然エネルギー先進都市
- ▶保護動物カフェで殺処分ゼロ
- ▶性的少数者の権利擁護

官民格差(14倍)是正
市民目線の改革



無所属
西尾いけちん



〈西尾けんいちの紹介〉

昭和25年12月石川県金沢市生まれ 昭和48年3月早大法卒、農業、会社員、代議士秘書を経て、市議1期、県議5期

市政の流れを
チェンジ!! 絶好のチャンス!
船橋が 好き!
船橋初!
市民の共同で
「市民の市長」を!!

旧20世紀型「開発利権」「官僚政治」はもうコリゴリ!
21世紀の「自然との共存」「市民との共同」の明るい未来へ!

イチローがいたシアトルの人口は船橋市とほぼ同規模。北米を代表する美しい都市です。自立した公共交通、にぎわう市場、北米有数のシアトル美術館…。

ひるがえって私たちが暮らす船橋市はどうでしょうか。まちづくりの計画もないまま人口だけが増加。63万都市の風格や気品がそなわっているのでしょうか。

現市長は、行政職幹部、副市長、市長職として、いったい船橋をどうしたのでしょうか。

南北幹線の背骨がなく、市内循環のない「パッチワーク都市」

「このまま遅れ続けていいのか」市民の市長にチェンジ! 未来を変えるチャンス!

住民本位の都市計画—計画段階から情報を公開し、市民が参加する市政へ!

＜プロフィール＞ 1948年 京都市中京区生まれ。1972年 金沢美術工芸大学卒(日本画専攻)。船橋市立古和釜中、大穴中、高根中、飯山満中、芝山中、旭中で美術教師。千葉大学教育学部(絵画科)講師。現在/画家 銅版画家 美術教育研究者 日本美術会常任委員 美術教育全国団体「新しい絵の会」常任委員 東京都・区児童作品展(絵画)審査員 船橋デッサン会会長 橋が山・大穴北コミュニティバスを実現する会(事務局) 博物館学芸員資格 最終学歴/放送大学大学院修士課程修了 大穴在住(市内45年)

オール船橋
(明るい会)

船橋市中学教員36年・千葉大学講師10年



無所属
ヤブ内好
タカシ

船橋市長選挙 選挙公報

投票日

6月18日(日)

午前7時から午後8時まで

市内84投票所

船橋市長選挙 選挙公報

投票日

6月18日(日)

午前7時から午後8時まで

市内84投票所